

第20回環境地質学シンポジウム

主催：地質汚染—医療地質—社会地質学会 準主催：Japan Branch of GEM-IUGS

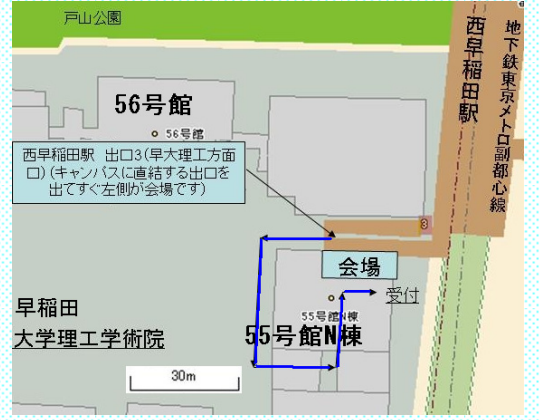
共催：日本情報地質学会, 日本鉱物科学会, 日本地質学会環境地質部会
日本第四紀学会, 内閣府認証 (NPO) 日本地質汚染審査機構

期日：2010年12月3日(金)・4日(土)

会場：早稲田大学 西早稲田キャンパス理工部 55号館N棟大会議室
(最寄り駅：地下鉄東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車)

参加費(論文集込み)：社会地質学会員 5,000円 非会員 7,500円(学生割引あり)
*非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引

特別講演：北里大学 教授 山内博氏「最近のヒ素中毒に関する話題」



3日		4日	
開始時間	演題・演者		古環境変遷および水域の地質環境とその持続的利用
10:00	富士山北麓の水循環システムと土石の流れ 興水達司(山梨県環境科学研)・小林 浩	9:30	琵琶湖高島沖湖底掘削試料中の生物源シリカ含有率からみた過去15万年前の環境変遷 根上裕成(早稲田人間科学)・喜岡 新・中西俊貴・中村祐貴・岩本直哉・斎藤笑子・井内美郎
10:15	河川改修と地下水流動変化 楠田 隆(千葉県地質環境研)・吉田 剛・古野邦雄・香川 淳・風岡 修・加藤晶子・酒井 豊・山本真理	9:45	琵琶湖高島沖ボーリング試料中の生物源シリカ含有率から推定される過去 13 万年間の東アジア夏季モンスーン変動 喜岡 新(早稲田人間科学)・根上裕成・中西俊貴・中村祐貴・岩本直哉・公文富士夫・井内美郎
10:30	千葉県に分布している湧水の地質環境 田村嘉之(千葉県環境財団)・岩井久美子・NPO 法人水環境研究所	10:00	長野県野尻湖における音波探査記録の反射面と湖底ボーリング試料との対応 中村祐貴(早稲田人間科学)・近藤洋一・井内美郎
10:45	地下水を対象とした溶存酸素濃度測定 青才大介(日本原子力研究開発機構)・萩原大樹・新宮信也・山本祐平・福田朱里・鈴木庸平・水野 崇	10:15	琵琶湖高島沖ボーリング試料の生物源シリカ濃度から復元した過去約 4 万年前の高分解能古環境変遷 中西俊貴(早稲田人間科学)・岩本直哉・天野敦子・井上卓彦・喜岡 新・井内美郎
11:00	大阪平野地下の深部帯水層の三次元地下水流動モデルの構築 森野祐助(大阪市大理工)・三田村宗樹・熊井久雄・大阪府健康福祉部環境衛生課	10:30	底質土壌中の球状炭化粒子と重金属元素から見た東アジア地域の越境汚染史の検討 佐藤亮介(早稲田大理工)・前田篤志・北瀬(村上)晶子・香村一夫・吉川周作・山崎秀夫・Jaesoo LIM・Ju-Yong KIM・Dong-Yoon YANG
11:15	2010年の猛暑が地下水盆に与えた影響 (速報) 香川 淳(千葉県地質環境研)・古野邦雄・山本真理	10:45	ため池底質・表層土壌に含まれる重金属および球状炭化粒子を用いた過去の大气汚染ゾーンの復元 —三重県四日市地域を例として— 磯嶋光一郎(早稲田大理工)・石渡真己・北瀬(村上)晶子・香村一夫
11:30	中・下部更新統境界の模式セクション候補地(千葉県市原市田淵)の認定に向けた取り組みとジオパーク 会田信行(千葉県小見川高)・井上 進・宇澤政晃・香川 淳・風岡 修・木村和也・木村英人・楠田 隆・葛岡 等・小玉喜三郎・酒井 豊・佐久間 豊・高島英世・塚定良治・楢井 久・楡山知代・古野邦雄・堀内正貴・丸井 敬司・安田敏一・吉田 剛・吉野秀夫	11:00	長崎湾における過去約 100 年間の貝形虫群集と海域環境の変化 井関岳人(大阪市立大理工)・吉川周作・入月俊明
11:45	地下水盆と地下水温 —千葉県観測井における孔内地下水の深度方向温度分布— 古野邦雄(千葉県地質環境研)・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・加藤晶子・酒井 豊・山本真理	11:15	中海表層試料の粒度分析結果からみるヘドロの分布様式 早川明人(早稲田人間科学)・井内美郎・三瓶良和
11:48	千葉県中央区における地質環境の総合科学的研究 その1・その2 木村和也(茨城大広域水圏)・古閑東海盆地ジオパーク認証推進協議会	11:30	長崎県杵臼川流域における海砂採取の環境地質学的課題 井内美郎(早稲田人間科学)
11:54	北海道東部釧路湿原 D3 コアの堆積学的検討 鈴木信也(新潟大教育)・高清水康博	11:45-12:00	総合討論
11:57	北海道東部釧路湿原 D5 コアの堆積学的検討 丸山千尋(新潟大教育)・高清水康博	12:00-12:45	昼食
12:00	山形県村山市北畑における小国沢川ミニ扇状地の表層地質と浅層地下水流動 川辺孝幸(山形大地域教育文化)	12:45-13:40	社会地質学会総会
12:03	石狩平野中南部地域の地下水位 丸谷 薫(北海道立総合地質研究所)・高清水康博・深見浩司	13:40-14:20	ポスターコアタイム
12:18-12:33	総合討論		地質汚染の修復および有害地質との対応
12:33-13:30	昼食		
13:30-14:15	ポスターコアタイム		
14:20	千葉県大堀川流域における河床堆積物に含まれる重金属の分布特性 安藤晃太郎(東京大院新領域創成科学)・須貝俊彦・若林 徹	14:25	検知管分析に基づく帯水層の地層汚染区分に関する一考察 百瀬 忍(基礎地盤コンサルタンツ)・打木弘一・高嶋 恒太
14:35	大阪平野における鉛汚染土壌の鉛同位体比の特徴 笠原 茂(メーサイ)・井口博夫・森川美幸・室 勇臣	14:40	原位置バイオマーカーに基づく汚染土壌修復速度の予測方法 宋 徳君(基礎地盤コンサルタンツ)・打木弘一・片山新太
14:50	産廃不法投棄場と道路ルートの問題 —東海環状道路の場合— 藤田 崇(関西地盤環境研)	14:55	六価クロム汚染サイトにおける地下水環境と微生物群集 打木弘一(基礎地盤コンサルタンツ)・宋 徳君
15:05	建設残土の倉庫・住宅用予定跡地における医療地質学的植生再生研究 —その1— 楢井 久(地質汚染診断士・理学博士)	15:10	九十九里地域南部の沖積層中の透水層の酸化還元状態と地下水流動 楢山知代(テクノアース)・高島英世・池田秀史・吉田 剛・風岡 修
15:20	千葉県銚子地域における農業活動と環境汚染 中川原 宏昭(早稲田大理工)・北瀬(村上)晶子・香村一夫	15:25	メタン溶存天然水による浄化技術に関する研究 宇佐美 潤(テクノアース)・葛岡 等・竹内美緒・坂田 将・駒井 武
15:35	印西市浦部地区の透水層別地下水のイオン濃度(その3) 酒井 豊(千葉県地質環境研)・風岡 修・加藤晶子・楠田 隆・飯高次夫・糸賀健一・村越道弘・小田桐亮・八橋明子・青木勝宏・吉田 剛・山本真理	15:40	VOCs 汚染サイトにおける <i>Dehalococcoides</i> 属細菌の分布と生息環境 吉川美徳(ケミカルグラウト)・竹内美緒・張 銘・風岡 修・吉田 剛・駒井 武
16:50	鉛直高密度地下水質測定による地下水涵養機構と酸化・還元状態—下総台地中央部、八千代市北部の不圧透水層の例— 風岡 修(千葉県地質環境研)・鈴木恵佐夫・高倉 歩・藤ヶ崎稔・吉田 剛・酒井 豊・楠田 隆・山本真理・渡辺 綾子・中丸純平・手塚裕樹	15:55	VOCs 汚染浄化促進技術と課題 張 銘(産総研地圏資源)・吉川美徳・竹内美緒・駒井 武
16:05	TCE汚染サイトにおける塩化ビニルの分布特性について 高嶋恒太(野田市環境保全)・風岡 修・楠田 隆	16:10	マツバイによるヒ素汚染された河川のファイトレメディエーション 久保田有紀(愛媛大理工)・榎原正幸・佐野 栄・世良耕一郎
16:20	地質汚染調査におけるケーシング掘削の重要性の普及 —よりよい仕様書を書くために地質汚染を理解する手助けとして— 吉田 剛(千葉県地質環境研)・楠田 隆・風岡 修・酒井 豊	16:25	マツバイによる重金属汚染河川の浄化に関する栽培方法の検討 榎原正幸(愛媛大学院理工)・彦田真友子・佐野 栄・世良耕一郎
16:35	土壌汚染調査と地質汚染調査 上砂正一(環境地質コンサルタント・地質汚染診断士の会長)	16:40	那須塩原土壌におけるアンモニア酸化活性 田村壯礼(福島大学共生システム理工)・難波謙二・皆川絵梨・吉澤俊哉
16:50	On the smallest stratigraphic unit on chrono layer and material layer in man-made strata on Geopollution site. Nirei Hisashi (International Working Group on Man-made Strata & Geo-pollution, IUGS-GEM) , Brian MARKER , Jonas SAIKUNAS, Kunio FURUNO	16:43	バックグラウンド的に存在する人為由来の鉛粒子 高階義大(洛菱テクノカ)
17:05	生物多様性と土壌汚染 —応用地生態学と人間地質学の視点— 笠原茂(メーサイ)・井口博夫	16:46	マツバイ中の植物珪酸体における重金属集積 榎原正幸(愛媛大学院理工)・菅原久誠・NGUYEN Thi Hoang Ha・彦田真友子
17:08	濃尾平野更新統における重金属濃度と鉱物組成 若林 徹(東京大院新領域創成科学)・須貝俊彦・笹尾英嗣	16:49-17:04	総合討論
17:11	汚染土壌における六価クロムの挙動に関する地球化学的研究 大友一夫(慶応大理工)・鹿園直建	17:05	大地の持続的利用と人間活動
17:14	更新統台地における地下水の局所的流動系と地下水質 —千葉県北東部の台地の例— 吉田 剛(千葉県地質環境研)・風岡 修・香川 淳・楠田 隆・古野邦雄・酒井 豊・加藤晶子・山本真理	17:05	福井県坂井市三国町安島のクロ松の立ち枯れと表層地質の関係 福山厚子(金沢大院自然科学)・奥野正幸・田崎和江・風岡 修・古野邦雄・川辺孝幸
17:17-17:40	総合討論	17:20	秋田県の古典型ツツガムシ病—有毒地の土地条件と形成に関して— 仲川隆夫(環境地質研究者)
18:00-19:00	特別講演 最近のヒ素中毒に関する話題 北里大学 山内博 教授	17:35	新潟県佐渡島の更新世の古地理—江戸時代の着想に関して— 仲川隆夫(環境地質研究者)
		17:50	2007年新潟県中越沖地震による柏崎市の地盤沈下観測井に残された変位波形記録の解析 川辺孝幸(山形大地域教育文化)・風岡 修・古野邦雄
		18:05	荒砥沢ダム上流域の巨大崩壊と大規模滑動のトリガー 初倉克幹(基礎地盤コンサルタンツ)
		18:20	Geoforensics International Network (GIN) 杉田律子(科学警察研)・Laurance DONNELLY・Alastair RUFFELL
		18:35	鉱物資源開発に対する国連持続可能な開発委員会の視点 村尾 智(産総研地圏資源)
		18:50	完新統海岸砂丘の砂丘間低地における液化—流動化現象の機構解明と今後の強震動・被害予測上の問題点—1987年千葉県東方沖地震時の山武市本須賀での例— 風岡 修(千葉県地質環境研)・佐藤光男・大澤裕之・吉田 剛・古野邦雄・楠田 隆・香川 淳・酒井 豊・原 雄・香村一夫・佐藤賢司・楢井 久
		18:53	“Communities And Small Scale Mining” Initiative: Its Contributions And The Way Forward Satoshi MURAO (AIST), Chusharini CHAMID, Budi SULISTJO, Ch.Usman ALI, Natsuko SHIRAKI, Masatada YAMAZAKI, Baatar TUMENBAYAR and Jambaldorj URAMGAA
		18:56-19:11	総合討論
		19:20-19:30	講演賞・奨励賞表彰

詳細情報等は HP : <http://www.jspmug.org/> まで

その他問い合わせ先：〒261-0005 千葉県千葉市美浜区稲毛海岸 3-5-1 千葉県環境研究センター 地質環境研究室 気付 地質汚染-医療地質-社会地質学会 第20回環境地質学シンポジウム担当(043-243-0261)